子どもたちとの1年をふり返って

上郡町子育て学習センターより

乳幼児の子育て支援を行う「上郡町子育て学習センター」が、恵まれた自然環境の赤松（岩木）へ移転してから1年が過ぎようとしています。その間に迎えた来館者は、親子で延べ4700人余となり、センターには毎日、子どもたちの元気な声が快く響いています。

両親、お年寄り、幼稚園、ボランティアの方々など…地域社会のさまざまな方々に支えられている子育て学習センターの1年間の歩みを、スタッフの思いを込めながらご紹介します。

子どもを育てる世代を超えた交流（上郡高校にて）

悩まないで　お電話を〝子育て相談〟

子どもたちの体と心を健康に育てるためには、親自身が心を開いて、子育ての喜びを子どもと共有することが大切です。親が悩んでいる時は、その苦しみが微妙に幼い心に反映して、健全な発達の妨げになります。

子育ての不安や悩みの早期解消を目的に、電話や面接で相談に応じている「子育て相談」は、多くのお母さん方に活用していただきました。また、孫を預かっているおばあさん方から相談をいただくこともあり、家庭だけでなく、社会みんなで子育てをすることの重要性や高まりを実感しています。

親子で遊び、体験し、成長する〝すこやか子育て教室〟

親子一緒に体験活動する講座「すこやか子育て教室」には、0歳から4歳までの親子104組が参加し、さまざまな遊びを通して交流し、子育ての基本を学ぶ親や子どもの表情が生き生きと輝いていました。

年間約100回の教室では、子どもの心の育て方についての講演会や、親子で楽しむ水泳、体操、自然探検、絵画や絵本製作、母と子のコンサート、リズムに乗って覚える英会話などを行いました。また、腹話術や手品による人権感覚の育成等、各分野にわたる専門家のご指導により、親子だけでなく親同士の輪を広げる参加型ワークショップ（交流学習）に花咲かせたのでした。

子育てを温かく見守る〝地域の人たち〟との交流

「すこやか子育て教室」には地域の皆さまからご協力をいただきました。

上郡高校3年生保育専攻の生徒との交流では、子どもたちは「お兄ちゃん、お姉ちゃんが遊んでくれる。」と毎回大はしゃぎで、高校生にとっても自らの幼児期を振り返り、生命の成長に気づく授業になりました。

クリスマス会には、福峯コーラスの皆さんがすばらしい音楽のプレゼントをしてくれました。核家族など、お年寄りとのかかわりが希少な環境で過ごしている子どもたちにとって、新鮮な体験になりました。

民生児童委員さんとの交流は、親の知識が広くなりました。「民生委員さんって何？」と思っていたところ、「私たち親子を見守ってくださる方」だと理解でき、このことに大変心強く思った様子でした。

また、4月から園・所生活へスムーズに移行できるように行う、幼稚園や保育園・所訪問では、入園を心待ちにしている子どもたちが、希望に満ちた意欲的な表情を見せてくれます。

＊　＊　＊

そして、センターの活動に欠かせないボランティアの皆さんをはじめ、多くの方々の大きな愛に支えられて、子育て学習センターは平成15年度へステップアップしようとしています。

お母さんぼくにもできるよ

私たちが子育て学習センターのスタッフです

クリスマス会で合唱する福峯コーラスの皆さん

民生児童委員さんと共に

平成15年度講座生募集「すこやか子育て教室」

▼**対象者**　乳幼児（0歳児から未就園児まで）とその母親または祖母

▼**講座料**　親子1組で年間1500円（材料費は実費負担）

▼**保険料**　親500円・子ども500円※必ず加入していただきます。

▼**申し込み方法**　募集要項は教育委員会、中央公民館、各地区公民館の窓口にあります。ご記入の上、上郡町子育て学習センターへ提出してください。

▼**締め切り日**　4月11日㈮

▼**お問い合わせ**　上郡町子育て学習センター☎52・1068

不便をかけていました駐車場は整備され、プレイルームには冷暖房設備も整いました

町長からの手紙①

上郡町長　安則　眞一

恋愛時代あるいは新婚時代、お互いよく話し合ったカップルも長年連れ添っていると『もう20年も共に過ごしているのだから、あえて説明しなくても分かってくれているはずだ』との思いで過ごすようになりがちです。

ところがそれが危険信号なんですね。分かってくれているはずとの思い込みと、現実に理解してくれていることのギャップが大きいと、時には破局を迎える事態にもなりかねません。

行政についても同じことが言えると思います。

私も一町民であった時と行政の中に入って仕事をしている現在を比較すると、行政に関して得られる情報量の差は歴然としています。そして、その情報を基に意思決定をしていきます。

ところがその経過やプロセスを知らされていない町民の皆さんには、知らないゆえに不信感なり不安感なりを持たれる可能性が大いにあります。

行政サイドで留意すべきことは、

①分かってもらっているはずだ、との思いにならないこと。

②分かってもらう努力をすること。

この2点が、大変重要なことであると思います。

私が行政の世界に飛び込んで約3ヶ月が過ぎましたが、現状は決して十分な状態であるとは思えません。

この『広報かみごおり』のあり方も〝分かりやすい言葉〟で、〝顔の見える〟工夫が必要だと思います。また、議会は、議場に傍聴に来られる方以外でも、気軽にロビーのテレビで様子が見られるよう工夫することも必要です。

広く町民の皆さんにいろんなことを知ってもらう手段についてはあらゆる努力をしていきたいと考えています。そうして行政に関心をもたれる方が多くなればなるほど、健全な上郡町に向かっていくことになると考えます。

今回から始めましたこの私のコラムのコーナーでも、なるべく顔が見える情報を提供していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。